

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第5584180号  
(P5584180)

(45) 発行日 平成26年9月3日(2014.9.3)

(24) 登録日 平成26年7月25日(2014.7.25)

(51) Int. Cl.		F I		
HO4L 27/36	(2006.01)	HO4L 27/00		F
HO4L 27/20	(2006.01)	HO4L 27/20		Z
HO4B 1/04	(2006.01)	HO4B 1/04		J

請求項の数 3 (全 14 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2011-170347 (P2011-170347)</p> <p>(22) 出願日 平成23年8月3日(2011.8.3)</p> <p>(65) 公開番号 特開2013-38461 (P2013-38461A)</p> <p>(43) 公開日 平成25年2月21日(2013.2.21)</p> <p>審査請求日 平成25年3月14日(2013.3.14)</p>	<p>(73) 特許権者 303046277 旭化成エレクトロニクス株式会社 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地</p> <p>(74) 代理人 100066980 弁理士 森 哲也</p> <p>(74) 代理人 100109380 弁理士 小西 恵</p> <p>(74) 代理人 100103850 弁理士 田中 秀▲てつ▼</p> <p>(72) 発明者 福田 州一 神奈川県厚木市岡田3050番地 旭化成エレクトロニクス株式会社内</p>
---	---

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 直接RF変調送信器のサンプリングクロック周波数設定方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

デジタルベースバンド入力信号とRF信号とを入力し、前記デジタルベースバンド入力信号によって前記RF信号を変調して出力する直接RF変調変換部と、前記直接RF変調変換部において前記デジタルベースバンド入力信号のデータレートを決定するサンプリングクロック信号を生成する信号生成回路と、前記信号生成回路によって生成される前記サンプリングクロック信号の周波数を前記RF信号の周波数に対応して決定するサンプリングクロック周波数決定回路と、を含む直接RF変調送信器において実行される直接RF変調送信器のサンプリングクロック周波数設定方法であって、

変調された前記RF信号において折り返し雑音が発生する周波数及び折り返し雑音の振幅を前記サンプリングクロック信号の周波数、前記デジタルベースバンド入力信号の周波数、及び前記RF信号の周波数に基づき算出するステップと、

算出された前記折り返し雑音が発生する周波数及び折り返し雑音の振幅を、予め設定されている条件と比較するステップと、

算出された前記折り返し雑音が発生する周波数及び折り返し雑音の振幅が前記予め設定されている条件を満たす場合、前記折り返し雑音が発生する周波数及び折り返し雑音の振幅の算出に使用されたサンプリングクロック信号の周波数を、前記信号生成回路が生成するサンプリングクロック信号の周波数に決定するステップと、

算出された前記折り返し雑音が発生する周波数及び折り返し雑音の振幅が前記予め設定されている条件を満たさない場合、前記算出するステップを再度行うために、前記折り返

10

20